



Via Latina 22

2018年12月 275号

総本部よりのお知らせ－マリア会

トーゴでの終生誓願式

11月10日土曜日、ロメのイエズスの御心大聖堂でトーゴでのマリアニスト在住60周年記念の荘厳な式典の間に、2名の若い修道士が大聖堂で信者たちの出席の下、終生誓願を立てました。一部の信者にとって、初めて、マリア会員、その家族、友人たち、卒業生そしてマリアニスト家族のメンバーの紹介となりました。Nicolas Kossi Assogba士とLucien Dedeten Gnakou士は、それぞれソトゥブア技術専門学校の歴史／地理の教師、およびナティティンガーのシャミナード高校の英語／音楽の教師で、この機会に同僚や生徒たちの出席を得て、楽しい時を過ごしました。



Nicolas Kossi Assogba士(左)とLucien Dedeten Gnakou士(右)



コンゴーでの叙階式

10月28日、コンゴー民主共和国、キンシャサのドンボスコの「キリスト者の助け手なるマリア小教区」にて、フランス管区のコンゴー特別地区はキンシャサ大司教区のEdouard Kisonga補佐司教の按手と聖別によるマリア会Romuald N'lumbu Mfumu-Sangu師の叙階式をお祝いしました。この式典の後、喜びの会食が用意されました。

Romuald神父おめでとう！

トーゴでのマリアニスト在住60周年祝典と教師の養成

先月号VL22でお知らせしたように、マリア会員は今年トーゴでの在住ダイヤモンド60周年（1958－2018）を祝っています。丸一年続くこの記念式は、マリアニストのアイデンティティと宣教をこの国の地域教会およびマリアニスト教育共同体とよりよく分かち合うために、トーゴのマリアニスト家族にその歴史を振り返り、そのアイデンティティと宣教への鍵となるものを把握する機会を提供します。この60周年記念の開始を記念するために11月10日から18日にかけて企画された諸活動は、この60周年式典の領域について多くのことを語っています。

2018年11月10日：トーゴの首都ロメの御心カテドラルにて感謝のミサを捧げましたが、このカテドラルはトーゴに到着した最初の宣教師たちの入り口でした。先駆者たちが最初の学校を開くため400キロ以上離れた内陸地域の奥深く出発する前に、トーゴで初めてのミサを祝ったのは、この大聖堂においてでした。



マリア会のMaximin Magnan士

11月16日－18日には、総本部教育局長E. Maximin Magnan士が指導するトーゴ地区の3つの学校の

110名の教師とスタッフのための養成集会在、今後2年間にわたって展開することになる養成サイクルに着手するために開催されました。この集会は創立者たちとマリアニスト教育のカリスマに中心を置く養成です。この養成集会は私たちの協働者に、彼らに何が期待されているのか、マリアニスト事業の精神に自分の最善のものを統合するためにどのように行動すべきか、またどのようにして自分の個人的資質と貢献を進化させながら最高に活用することによって自らを高めていくのか、を理解させてくれるガイダンスを提供することを狙っています。

60周年の開始を記念するこの最初の週の諸活動の終わりに、私たちは、マリアニスト修道者と学校の教育スタッフとの間に、刷新された熱意と微かな刷新のそよ風を感じました。この60周年記念の年を通して、祈りをもってこの行政単位と共に歩み続けましょう。



欧州のマリアニスト学校の管理職チームと学生司牧担当者の会議

3年に一度の欧州マリアニスト学校の管理職チームと学生司牧担当者の会議が、今年は“マリアニスト事業体の教育的アイデンティティ”というテーマをめぐってオーストリアで開催されました。この会議はウィーンの「カージナルKönigセンター」で行われ、この会議に非常に相応しい環境を用意していました。

10月31日から11月2日の3日間、ドイツ・オーストリア、スペイン、フランス、イタリアを含む欧州のマリアニスト行政単位から150名以上の出席者があり、数名の講演者の話に耳を傾けた後、私たちの事業体のマリアニスト・アイデンティティの様々な視点、すなわち、このアイデンティティの基礎、日々の生活でこれを実践することで起こる関心事、これが暗示できる組織とリーダーシップ、必要とされるマリアニスト・アイデンティティのあり方etc.、について非常に豊かな意見交換が行われました。この会議は集中した勉強会でしたが、出席者たちはこの美しい歴史的都市の豊かな文化、芸術そして料理を楽しむ機会も逃しませんでした。次回のこの会議は2021年にスペインで開催されます。



ドミンゴ・ラザロ神父の列福・列聖調査、枢機卿会議へと前進



スペインのドミンゴ神父(1877-1935)は、まだ39歳だった1917年に、若いスペイン管区の管区長に任命された最初のスペイン人でした。彼は1924年まで管区長として奉仕し、その後、死去するまでマドリードのEl Pilar校の校長を務めました。彼は教育学の優れた専門家であり、1930年に教育同志連盟を設立した人で、それがスペインの全てのカトリック教育事業を含む現在のカトリック学校組織の起源となりました。

ドミンゴ神父は信仰の人、修徳を志す人でした。彼は自分自身、高德を身につけようと努力し、また、修道者と青年たちの優れた牧者になろうと努めました。

彼は、青年たちの福音化の奉仕に、また、幾人かの修道者たちがスペインの宗教迫害の間に殉教を受け入れることによって証明するように、仲間の修道者たちを聖性の道に導くことに、自分の膨大な教育学の知識を役立てました。

2016年11月11日の神学者会議は、回答が必要な一連の質問をドミンゴ神父の列福・列聖調査に提起しました。マリア会請願者が行った回答の後、2017年12月に、全ての神学顧問たちが肯定の投票を行い、現在、教皇に提出される前に、枢機卿と司教によって検討される列聖調査が可能になります。もし神の意志であるなら、ドミンゴ神父は“尊者”の敬称を授かることができます

ローマで信徒マリアニスト共同体の国際評議員会の会議



例年通り、信徒マリアニスト共同体の国際チームは、2018年10月26日～28日に開催されたマリアニスト家族世界評議会に引き続き、数日間の内部検討会を行いました。信徒マリアニスト共同体の会議は2018年10月29日から11月2日にかけてVia Latina22の施設にて開催されました。こうしてVia Latina共同体は彼らが滞在してこと、およびそのような機会がもたらしてくれた交流によって恩恵を受けることが出来ました。国際評議員会は2018年8月のソウルでの国際会議で示されたガイドラインに従って2018年～2020年の計画を作成しました。それは同時に新しい評議員会メンバーにとって彼らの任務に着手する機会でもありました。

その週の間、国際評議員会はまたシャミナード国際神学校の共同体との会議を持ち、世界各地の信徒マリアニスト共同体の生活、および国際チームの働きについて話し合いました。別の日は、ローマ市、特に聖ペトロの墓への巡礼と、マリアニストシスターたちの総本部への訪問に当てられました。国際チームは、現在、次の5名で構成されています。会長：Béatrice Leblanc(フランス)、欧州地区責任者：Mercedes de la Cuadra(スペイン)、アフリカ地区責任者：Francisca Jere(ザンビア)、北アメリカ、アジア、アイルランド、オーストラリア地区責任者：Marceta Reilly(アメリカ)、ラテンアメリカ地区責任者：Nidia Rodriguez(コロンビア)です。国際チームの顧問として、SMのドミンゴ・フェンテス士(ブラジル)が彼らによって選ばれました。

カリフォルニア火災の犠牲者のための祈りで一致しましょう

先月11月8日以来、いくつかの火災がカリフォルニア州（USA）の異なる地域、特に北部地域に惨事をもたらしています。損害は甚大なものです：約90名が死亡、200名が行方不明、そして11,000戸以上の住宅と470棟の商業ビル、3,300の他の建物が壊滅しました。

家を失った犠牲者の中には、ロスアンゼルス近くのウェストヒルズのシャミナード高校の生徒の幾つかの家族がいます。どうぞ彼らのため、また全ての犠牲者のため、そしてこれらの火災が最終的に鎮火しますよう祈ってください。また、この災害で苦しんでいるすべての人々に必要な支援を行う連帯のためにもお祈りください。

総長評議員会の訪問日程 2018年～2024年

日 程	行政単位 / 国	訪 問 者
2018年10月11日～15日	スイス	総長・霊生局長・教育局長
2019年1月24日～2月3日	キューバ	総長・教育局長
2019年1月27日～2月3日	ブラジル	霊生局長・財務局長
2019年2月3日～19日	コロンビア・エクアドル	全 員
2019年2月20日～3月11日	ペルー	全 員
2019年4月23日～5月8日	アルゼンチン	全 員
2019年5月9日～25日	チ リ	全 員
2019年9月22日～10月19日	インド	全 員
2019年11月17日～23日 & 12月1日～14日	イタリア	全 員
2020年2月9日～3月21日	コートジボワール、コンゴ	全 員
2020年4月19日～5月16日	フランス	全 員
2020年9月16日～10月27日 & 12月1日～19日	米 国	全 員
2021年2月1日～27日	東アフリカ	全 員
2021年4月25日～5月15日	トーゴ	全 員
2021年10月1日～23日	オーストリア	全 員
2021年12月1日～18日	メリバ	全 員
2022年2月6日～3月19日	スペイン	全 員
2022年5月1日～21日	韓 国	全 員
2022年5月22日～6月11日	日 本	全 員
後日発表	カナダ	
後日発表	アイルランド	

最近の総本部通信

* 訃報：#26 ~ 28

総電子住所変更

* George Cerniglia 師 (US) : gjcernigliasm@gmail.com

* Ronald Overman 士 (US) : roverman1@udayton.edu



総本部共同体とシャミナード国際神学校共同体から全ての
ブラザーとシスター、彼らの協働者と家族の皆様に
ご生誕の喜びと恵み豊かな新年を祈願し、ご挨拶を申し上げます！